

とよた 市議会 だより

6月市議会定例会
夏号
平成20年7月15日

ファイルNo.
89

稲武地域バスの運営方式を変更します

地域バスの運行に関する条例の一部改正

舗装材の変更により駐車場の路面温度の上昇を抑えます

契約変更(〔仮称〕市総合体育館サブホール・市武道館建設工事)

ピックアップ
TOPICS
トピックス

「とよたおいでんバス」の 運行風景



より快適な公共交通を目指して 本市では「公共交通基本計画」に基づき、公共交通ネットワークの構築を進めています。写真は市街地、支所、駅などを相互に連絡し、公共交通の基幹となる路線を走る「基幹バス」と呼ばれるものです。他にも、地域の方が主体で運行する「地域バス」が16路線あります。今後もこうした地域の取組を支援します。

- 豊田市議会のあらましについてご紹介します ②
- 特別委員会の設置・インターネット録画放映など
予算決算特別委員会 ③
- 議案説明・討論 条例の一部改正・工事請負契約 ④
- 採決一覧 議案審議結果 ⑤

常任・特別委員会 付託案件・請願・陳情を審査 ⑥

市政について問う!

- 一般質問 23人の議員が質問 ⑧
- 情報あれこれ
議員表彰、花飾り活動、議会報コンクールなど ⑫



豊田市議会のあらましについて ご紹介します

豊田市議会は市民の皆様の代表として、より良い市政を実現するためにさまざまな活動を行っています。

ここでは、市議会の役割、仕事などの概要と、特別委員会の設置、「市民に開かれた議会の推進」を目的として、一昨年から実施している「インターネットによる録画映像放映(ビデオ・オン・デマンド)」に関する取組についてご紹介します。

市議会の役割

市が行うさまざまな仕事は、市民のみなさんが全員で考え、話し合いのうえ決定し、実行していくことが望ましい姿です。

しかし、実際には市民のみなさんが全員で行うことは難しいため、選挙で選ばれた代表者がその役割を担います。これが市議会議員や市長です。

市議会議員は議会を組織し、市政を進めるために必要な条例(きまり)や予算(あらかじめ必要な費用)などを議決します。また、市長は議会の決定に沿い市政を進めることができます。両者はお互いに独立した立場で、行き過ぎを正し、互いに補い合いながら、より良い市政の実現を図っています。

市議会の仕事

市議会には、市民のみなさんの代表として十分な活動ができるように、議決権、調査権、監査請求権などの権限が与えられており、権限に基づき次のような仕事をしています。

議決 市政を進めるうえで重要な事柄を決め、議会が意思決定することを議決といい、条例の制定や予算の決定、決算の認定などを行います。

選挙 議長や副議長、選挙管理委員等を選挙により、議会で選出します。

検査・監査・調査 市政が正しく行

われているか確認するため、事務を検査したり、監査委員に監査を求めたり、直接調査を行ったりします。



市議会の仕組み

議員 市議会議員は、本市に在住する25歳以上の日本国籍を有する人が立候補することができ、本市に在住する20歳以上の日本国籍を有する市民による選挙で選ばれます。議員数は人口規模に応じ、地方自治法に規定する限度内(本市は46人以内)で、条例で定めることとなっています。本市では条例で40人と定めていますが、市町村合併の特例により、現在は47人の議員数となっています(平成23年4月まで)。

議長・副議長 議長・副議長は、議員の選挙により選ばれます。議長は議会全体を統括し、議場の秩序を保ち、会議を円滑に進める役割を担います。議会の事務を処理するのも議長の仕事です。副議長は、議長不在のとき議長の職務を代理します。

議会事務局 市議会のさまざまな

事務を処理するために、事務局を置いています。現在21人(うち臨時職員4人)の職員がいます。

会議の概要

議会はいつも開かれているわけではなく、定期的または必要に応じて一定の期間だけ開かれます。定期的に開かれる議会を「定例会」、必要に応じて開かれる議会を「臨時会」といいます。

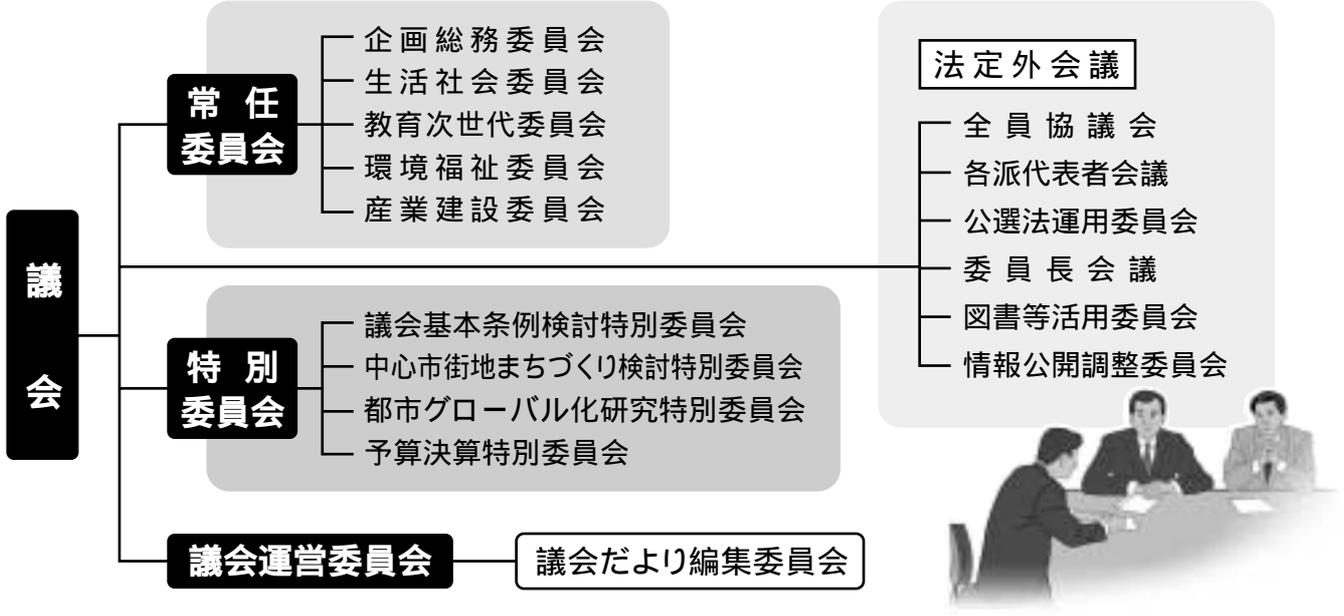
本市の定例会は年4回、おおむね2月、6月、9月、12月に招集されます。市議会の招集は市長が行いますが、議長又は議員定数の4分の1以上の議員から請求があった場合、市長は臨時会を招集しなければなりません。

本会議 本会議は、議案などを審議し、議会の意思を決定する最も重要な会議です。市の行政全般に対するの質問を行い、市政の進め方や考え方を明らかにしたり、提出された議案について説明を受け、質疑を行い意見を述べて賛成、反対を明らかにします。

委員会 議案は市政全般にわたり、内容も大変複雑になっています。委員会では、本会議で付託を受けた議案などを専門的かつ詳細に審査します。本市議会には5つの常任委員会と議会運営委員会、そして4つの特別委員会が置かれています。



議会の組織



今定例会で、下記の特別委員会を設置しました。

特別委員会

予算決算 特別委員会

予算及び決算は、連動して審査することが望ましいことから、予算案件(補正予算含む)及び決算案件について、1年を通して同じ特別委員会で審査を行います。

委員長 / 松井 正衛
 副委員長 / 山内 健二
 委員 / 議長を除く
 全議員

「インターネットによる録画映像放映(ビデオ・オン・デマンド)」を行っています。

本市議会では、市民のみなさんへの情報提供の充実と、開かれた議会の推進を目的として、市議会だよりの発行を始め、市議会ホームページ、テレビ・ラジオ中継などを積極的に行っています。その中で、一昨年6月定例会から「インターネットによる録画映像放映(ビデオ・オン・デマンド)」を始めました。

これは、代表・一般質問などの内容を、インターネット上で質問初日から7日以内(土日休日を除く)に放映(予定)するものです。市ホームページの中の議会ページから右記の方法で閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

アクセス方法

各検索サイトから で、「豊田市議会ホームページ」へアクセス。

[その他]の「議会中継 録画映像」から、各定例会の議員・質疑応答の項目ごとにご覧いただけます。



地域バスの運行に関する条例の一部改正など19議案を議決

	主な案件名	内容
条例の一部改正	【第82号】 豊田市地域バスの運行に関する条例の一部を改正する条例	稲武地域バスの運行方法を、市による直営方式から、市民と事業者と市による共働運営方式へと変更します。
	【第83号】 豊田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	非常勤消防団員などの損害補償に関する政令の一部改正に伴い、平成20年4月から必要な改正を行います。ケガや病気などの損害補償を算定する際の基準額について、配偶者以外の扶養家族がいる場合の扶養加算額を従来の200円から217円に引き上げます。
契約の締結	【第85・86号】 都市計画道路竹生線道路改良工事 (南工区・北工区)	歩行者空間のバリアフリー化や都市防災機能の強化など、安全で快適なまちづくりを進めるために、都市計画道路竹生線の整備を行います。契約金額は桜町周辺の南工区(447m)が2億2,785万円、竹生町周辺の北工区(469m)が2億2,890万円、完成予定はともに平成21年3月です。
契約の変更	【第93号】 (仮称)豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事	ヒートアイランド現象(都市部の気温が周辺部より高くなる現象)の緩和策として、市総合体育館メイン駐車場の仕様を透水性舗装から保水性舗装に変更し、路面温度の上昇を抑えます。金額は当初金額から約2,289万円増の約20億9,118万円、完成予定は平成22年2月です。

討 論

発言順に記載

諸 派 大 村 義 則

議案第81号は、子どもの権利の侵害に対して、具体的に対応できる体制づくりを推進するもの。子どもの権利擁護委員や相談員の活動が子ども条例を現実に生かす力になることを期待して、賛成。議案第84号は、市民が早く豊田スタジアムの屋内プールを利用できるよう市として努力が求められていること。事故原因の特定と責任の明確化を前提に、議会として工事予算を認めるべきであり、賛成。

自民クラブ 梅 村 憲 夫

議案第82号は、市民と行政が共働し、さらに交通事業者が安全な運行と効率化を図って公共交通の仕組みを創造するもの。地域の実情に合った公共交通の確保のために、その取組に期待して、賛成。議案第93号は、周辺市街地での

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

気化熱による気温の上昇を抑制することで、環境面への配慮と温暖化抑止に有効であるもの。駐車場の舗装の種類を透水性から保水性へ変更することは妥当と考え、賛成。

市民フォーラム 庄 司 章

議案第81号は、子どもの権利擁護委員の報酬などを定めるもの。子ども条例を推進する上で委員のウエイトは高く、弁護士会の法律相談などの報酬が30分で5,250円であることなどから妥当な額と判断できるため、賛成。議案第84号は、事故調査委員会の報告を受けて復旧工事を行うと同時に、他の部分の改修工事を前倒しして行い、次年度の工事による停止期間を省略するもの。一日も早い工事を期待して、賛成。

公明党 佐 藤 恵 子

議案第93号は、環境面と景観面も含め、

当初から要望していたように緑化に対して十分な配慮が行われているため、賛成。議案第96号は、体験的に交通安全を学ぶのみに限らず、出前学習による現地での体験学習を行うことから、学習の成果を期待する。自転車免許証の交付についても市民意識を高め、自転車の事故抑制につながる効果もあるため、賛成。

諸 派 岡 田 耕 一

議案第96号は、平成15年度に市長や関係者各位の英断により、ドライバー教育施設は当面整備を行わない方針とした。その後、費用対効果などを考慮したPFI事業として計画が進み、丁寧な調査と効果検証によって、結果的に我々の意見が多く取り入れられた。現計画のPFI事業としての本事業については、交通安全意識の向上や事故防止を大いに期待して、賛成。



議案審議結果

議案名など一部省略して記載しています

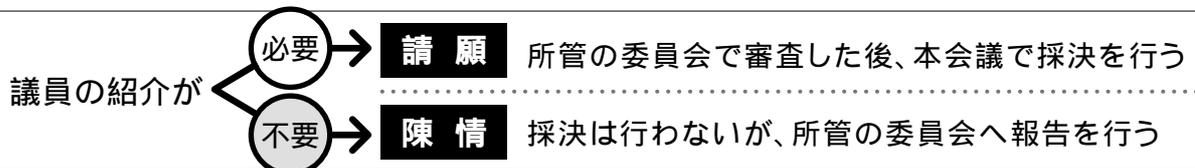
6月市議会定例会に付された案件

議案	採決結果	会派別賛否								
		自民クラブ 30名(議長除)		市民フォーラム 10名(1名欠)		公明党 3名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
第81号 報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例	原案可決	29	0	9	0	3	0	4	0	
82 地域バスの運行に関する条例の一部改正条例	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
83 消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
84 平成20年度一般会計補正予算	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
85 工事請負契約の締結(都市計画道路竹生線道路改良工事・南工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
86 " (都市計画道路竹生線道路改良工事・北工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
87 " (公共下水道事業管渠築造工事・第2工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
88 " (公共下水道事業管渠築造工事・第3工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
89 " (公共下水道事業管渠築造工事・第4工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
90 " (公共下水道事業管渠築造工事・第17工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
91 " (公共下水道事業管渠築造工事・第18工区)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
92 工事請負契約の変更(市道富田国附2号線〔仮称〕新富田橋橋梁新設工事〔取付道路工〕)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
93 " (〔仮称〕豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
94 財産の取得(竹元公園用地・竹元町地内)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
95 " (はしご付き消防自動車)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
96 特定事業契約の締結〔仮称〕豊田市交通安全教育施設整備・運営事業)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
97 都市公園予定区域の決定(鞍ヶ池緑地)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
98 土地開発公社定款の変更	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
99 財産の取得(室内用テニスコート)	"	29	0	9	0	3	0	4	0	
同意										
第4号 人権擁護委員の推薦(太田之朗氏、蝶澤代氏、加納圭美氏、澤田充弘氏、都築廣一氏、正木恒男氏、八木順子氏)	同意	29	0	9	0	3	0	4	0	
報告										
第4号 経営状況の報告(土地開発公社はじめ23法人)										
5 継続費等の報告(継続費、繰越明許費、予算繰越)										
請願										
第4号 後期高齢者医療制度の廃止を求める請願書	不採択	0	29	0	9	0	3	4	0	
陳情										
第2号 自主共済制度の保険業法の適用除外を求める意見書の採択を求める陳情書										
3 住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立、平和な世界の実現などを求める陳情書										

「議案審議」関連情報

請願と陳情

市政についての要望や意見がある場合、直接議会へ提出することができます。「請願」や「陳情」と呼ばれるもので、違いは下記のとおりです。



なお、請願・陳情は書式や提出方法が決まっていますので、詳しくは議会事務局(P12参照)までお問合せください。市議会ホームページ(P3、P12参照)の[お知らせ] 「請願・陳情の提出」でも、詳細をご覧ください



6月11日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、5つの常任委員会と予算決算特別委員会で行いました。委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。 **開催日順に掲載しています。議案名など一部省略しています。**

産業建設委員会

6月12日、付託された6議案を審査し、すべて全会一致で承認し、陳情1件を報告しました。

【第82号】豊田市地域バスの運行に関する条例の一部を改正する条例

質問 運営主体が民間に移行した場合、料金設定に変更はあるのか。

答弁 料金設定についての考え方は、「公共交通基本計画」の中で設定している。基幹バスについては100円を単位とし、距離に応じた金額。地域バスにおいて、毎日運行するものは大人1回200円、子どもは半額で、それ以外の運行サービスでは大人1回100円と定めているため、今後も基本計画の方針に沿って料金設定を行っていく。

【第85・86号】工事請負契約の締結

質問 都市計画道路竹生線道路改良工事事業において、共働のまちづくりの観点からはどのように進めているのか。

答弁 地域の住民を中心とする4つのまちづくり協議会を立ち上げた。まちづくりウォッチングやワークショップなどを重ね、舗装の材料や樹木の種類などの選定を進めており、完成後も継続的なまちづくりが期待できる。



【第94号】財産の取得(竹元公園用地 [竹元町地内])

質問 近年、公園整備の手法としてワークショップが取り入れられているが、竹元公園にもその手法を取り入れていくのか。

答弁 2つの自治体に隣接している公園であるため、両方の自治体に声をかけてメンバーを集め、その中で意見などを聞きながらワークショップ方式で計画作成していく。また、管理についても両自治区で1つの公園愛護会を設置していただき、活動されることを期待したい。

環境福祉委員会

6月13日、付託された請願1件を審査し、不採択としました。他に陳情1件を報告しました。

教育次世代委員会

6月16日、付託された2議案を審査し、すべて全会一致で承認し、陳情1件を報告しました。

【第93号】工事請負契約の変更([仮称]豊田市総合体育館サブホール・豊田市武道館建設工事)

質問 今回、透水性舗装から変更する保水性舗装は、どのような特色があり、またどのような効果が見込まれるか。

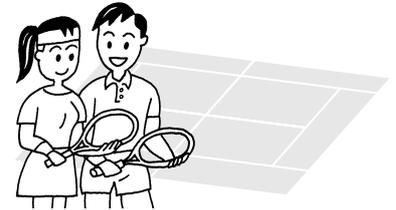
答弁 保水性舗装は、透水性舗装に比べて小さな隙間を持った舗装だ。厚さ5センチのアスファルト舗装

を行った後、表面から液状の保水材を隙間に流し込み固めることで、アスファルト内に保水された水の蒸発時の気化熱により表面温度を15～20低減させる。ヒートアイランド現象を緩和する効果を持つことから採用した。

【第99号】財産の取得(室内用テニスコート)

質問 一般競争入札から指名競争入札へ変更した理由は何か。

答弁 5月22日に入札を実施したが不調になった。この対応としていくつかの方法があり、再び一般競争入札を実施するという選択肢も考えられた。しかし今回は、条件をまったく変えずに予算額だけを見直したため、再び一般競争入札に付する理由もなかったことから、指名競争入札で実施した。



生活社会委員会

6月17日、付託された8議案を審査し、すべて全会一致で承認しました。

【第87～91号】工事請負契約の締結(公共下水道事業管渠築造工事)

質問 今回の入札で、他市で指名停止中の業者が落札しているが、本市での取り扱いについてはどうか。指名停止については愛知県や他市と連動しているのか。

答弁 指名停止基準については『中央公共工事契約制度



委員会

運用連絡協議会』の標準モデルを基準にしているため、各自治体とも同じような取り扱いとなる場合が多い。しかし指名停止期間などについては、当該自治体で発生した案件かどうかなど、関わり方によって差が出てくる。今回の業者についても、他市では1年間の指名停止中であるが、本市では4月18日までの5か月間の指名停止であったため、今回の落札は適正と判断している。なお、指名停止について県や他市との連動性はない。

【第95号】財産の取得
(はしご付き消防自動車)

質問 今回、随意契約となった経緯は、

答弁 6者での指名競争入札を行ったが不調となったため、地方自治法施行令の規定を適用した。希望者と交渉を行い、予定価格と同額で契約が成立したため、今回は随意契約となった。

【第96号】特定事業契約の締結
(〔仮称〕豊田市交通安全教育施設整備・運営事業)

質問 今回の運営事業において、自転車の安全運転学習の観点から、交通ルールの自覚を促すための「自転車運転免許証」の発行は計画されているのか。

答弁 現段階での事業者からの提案の中に自転車練習ゾーンが配置されており、導入機器の中に免許証発行装置が提案されている。免許証の発行については、今後、運営を協議する中で実施する方向で検討していく。



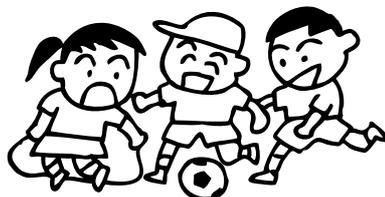
企画総務委員会

6月18日、付託された2議案を審査し、すべて全会一致で承認し、陳情2件を報告しました。

【第81号】豊田市報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

質問 子どもの権利擁護委員に対する報酬の時間額を1万円とした根拠はあるのか。他市の事例などは参考にしたのか。

答弁 県弁護士会の法律相談料が30分あたり5,250円であることを参考に根拠とした。また、他の類似形態としては「パルクとよた」の少年非行相談員についても同額である。参考事例にした兵庫県川西市では、週1回5時間の定期勤務に加え、不定期の相談や講演会を含めて、時給換算で1万円から1万2千円くらいであり、同程度の水準である。



【第98号】豊田市土地開発公社定款の変更

質問 今回の改正により、土地開発公社の監事の職務について変更点はあるのか。

答弁 今回は、引用する上位法の変更に伴う改正であるが、内容としては監事の職務に変更点はない。

予算決算特別委員会

各分科会を6月16・18日に、委員会を20日に開催し、1議案について承認しました。下記は6月16日の教育次世代分科会の内容です。

【第84号】平成20年度 豊田市一般会計補正予算

質問 豊田スタジアムの屋内プール天井復旧工事は、事故調査委員会の提言を踏まえた上で設計されているのか。

答弁 豊田スタジアム屋内プール天井落下事故調査委員会の答申書にある「事故原因の推定並びに再発防止策の提言」を踏まえた内容を設計委託の中で進めている。事故原因に推定される5項目や再発防止策の提言4項目の詳細内容、安全な施設となるような対策を盛り込んだプールの設計に努めていく。

請願

【請願4号】後期高齢者医療制度の廃止を求める請願書

上記の請願を所管委員会及び本会議にて審査を行った結果、不採択となりました。

陳情

【陳情2号】自主共済制度の保険業法の適用除外を求める意見書の採択を求める陳情書

【陳情3号】住民の暮らしを守り、公共サービスの充実、格差の是正、働くルールの確立、平和な世界の実現などを求める陳情書

上記の2つの陳情が提出され、所管の委員会へ報告されました。



6月9日から11日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。質問・答弁の詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する9月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

松井正衛

自民クラブ

豊田市における今後の財政見直し環境モデル都市の実現に向けて豊田市の積極的な健診受診対策

質問 (仮)低炭素社会とよた推進機構の役割

「とよたエコライフ倶楽部」を発展的に改組した新たな市民組織設置が予定される一方で、産・学・官の連携により「(仮)低炭素社会とよた推進機構」が設置される。当該機構の役割は、

答弁 環境部

当該機構は、新たな市民団体「(仮)低炭素社会を実現するとよた市民の会」を構成する市民や企業からのCO2排出量データ、削減活動情報などを集約・評価し、より実効性の高い活動の提案などを行う。また、経済的サポートも併せて行い、会の活動を牽引するイメージだ。また、CO2削減のための調査・研究、その成果に基づく施策提案・情報発信機能も検討していく。

大村義則

諸派

公共のバスに無料敬老パスの導入を浄水駅・豊田厚生病院間のバス増便をDMVで、廃線した三河線の復活を

質問 有効な施策として市長の政治判断を期待

交通費助成制度の復活を望む高齢者は多い。経済的な負担増が相次ぐ中、せめて本市として、長生きして良かったと思える施策を導入しては、無料敬老パスはきわめて有効な施策と考えるが市の考えは、

答弁 福祉保健部

平成17年4月に、これからの高齢者福祉施策は元気な人にも一律に行うのではなく、日常生活に介護や支援を必要とするが、家族の援助を受けることが困難な人に行うという考え方に基づき交通費助成制度の見直しをした。また、自動車学校のスクールバス事業を始めとする外出支援策も推進してきたため、高齢

者を対象にした無料敬老パスの導入は考えていない。

吉野博子

市民フォーラム

豊田市に活力をもたらす住宅政策とは？

質問 ライフステージに合わせた住み替えシステム

市内にて高齢者向け住宅や農山村部に住み替える場合、これまでの持ち家を市か公的機関で借り上げて持ち家世代などに貸し出す、といったシステムを構築してはどうか。市の見解は、

答弁 都市整備部

住み替えシステムは、都市部及び農山村部での定住促進や交流に有効な取組だと考えている。住宅マスタープランの基本方針にもあるが、居住ニーズに合った住宅への住み替えを円滑に進めるための仕組みづくりを検討する。例えば、中古住宅性能表示制度の普及・促進、中古住宅取引などについての相談体制の構築、世帯規模に応じた住み替えの推進などである。



光岡保之

自民クラブ

教育における地方分権の推進本市の定住政策

質問 知的障がい児の学習環境

過大化している県立三好養護学校の現状を踏まえ、豊田市の子どもは豊田市で責任を持つという視点で、本市で豊田市立の知的障がい児の学校を設置していただきたい。市の考えは、

答弁 市長

三好養護学校の改善は、再三に渡り愛知県に直接申し入れており、県は努力す

ると表明していた。しかし最近、他の養護学校の現状が極めて厳しいという話が出ているため、三好養護学校の改善は少し先になるのではと懸念している。状況を勘案すると、市としての取組を考えるべきかと思う。制度上の調整すべき点を精査した上で市立としての取組を検討していく。

加藤和男

自民クラブ

食育による「青少年育成」豊田市文化芸術振興施策

質問 (仮)豊田市文化交流センターの整備

文化は市民の社会的財産であり、まちづくりの力。(仮)豊田市文化交流センターの整備基本構想は県立東高校の跡地を想定しているが、文化創造拠点としての整備について、市の考えは、

答弁 教育委員会

予定地周辺には、美術館や市民文化会館があり、効果的な連携を図る上でも、文化創造拠点としての機能を整備することは重要。具体的には、音楽、舞踊、絵画などの本格的な創作活動を支援する機能、子どもから大人まで誰でも身近に文化芸術を体験できる機能などを想定している。本施設に多くの市民が集い、様々な文化創造活動が活発に展開されることを期待している。

根本美春

諸派

保育園給食は自園調理給食に

質問 違法状態は正についての市の方針

保育園給食の外部搬入は違法。この状態を是正するために、市はどのような方針か。段階的に民間移管した園や建替え期にある園から自園調理のモデルケースを作ってみては、

答弁 子ども部

大きな問題なので、すぐに自園調理に変えていくのは難しいが検討したい。しかし、給食の外部搬入は自園調理より高い安



質問順に掲載しています。

正式な会派名 / 自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

心が得られると考えている。本市では幼稚園と保育園の一体的な運用を目指しており給食の提供について両者を区別することは大きな矛盾を感じる。今後、全国一律である「施設最低基準」を見直そうとする検討もされているため、慎重に対処したい。

小島政直

公明党

医療及び介護保険制度の現状と課題

質問 持続可能な介護保険制度にするために

介護保険制度には、高齢者に無理のない保険料設定と確保、適切なサービス提供が必要。介護サービス利用者への「安全」と「安心」を確保するための対応策について、市の考えは、

答弁 福祉保健部

サービス事業者への実地指導の強化が重要。ケアプランどおりのサービスが実施されているかの確認は、保険者である本市の重要な責務であり、昨年度、架空請求などにより不正に介護報酬を受け取っていた事業者の指定取消を行い返還訴訟を起こしている。事件の再発を防止するため、指導時間の拡大、介護報酬請求に重点を置いた点検など、実地指導の強化を図る。



樹神義和

市民フォーラム

更なる「子育て支援」
地震災害対策
豊田スタジアム屋内プール天井落下事故

質問 豊田市地域防災計画の見直し

本市の「地域防災計画」は主に東海地震及び東南海地震を想定しており、「猿投 - 高浜断層帯」を震源とするよ

うな内陸直下型はあまり想定されていない。計画見直しについて市の考えは、

答弁 社会部

国においては、今年度内に中部圏・近畿圏の内陸地震に関する専門調査会報告書の取りまとめを行う予定である。その後、予防対策から応急対応、復旧・復興対策まで含んだ、国の総合防災対策のマスタープラン策定が検討されると聞いている。それを受けて、県や市町村での対策が協議されるため、その中で市としての対応を検討する。

都築繁雄

自民クラブ

住宅用地や産業用地
共働によるまちづくりの推進
新たな健康づくり事業

質問 地域に合わせた施策づくりを支える体制

共働によるまちづくりを確実に推進するには、職員体制の充実や連携強化、地域意見に的確に応じる力が不可欠だ。支所の役割と、本庁も含めた都市内分権に関わる職員の配置は、

答弁 社会部

支所は地域の事務局として地域をサポートしつつ、地域の声の適切な集約と所管課へのつなぎをする。地域からの意見を施策に反映するには、的確・円滑な政策判断や本庁・支所間の連携強化などが必要であると認識しており、共働推進責任者と共働推進担当者を各所属に配置している。今後、都市内分権の仕組みを完成させていく議論の中で職員体制についても配慮していく。

日恵野雅俊

自民クラブ

緑の環境都市軸と中心市街地活性化

質問 駅周辺の緑の拡大についての提言

環境モデル都市のシンボルエリア

実現に向け、タクシーやバスターミナルを地下に移し、自動車交通と歩行者を完全分離しては。また、地上レベルで「森」を整備し、ビルを壁面緑化してはどうか。

答弁 都市整備部

6月2日に豊田市駅前通り南地区の再開発ビル「コモ・スクエア」の完成式典が行われ、中心市街地の活性化への期待が寄せられている。さらなる発展を目指して、北地区の市街地整備、駅前広場、豊田市停車場線など一体的な整備計画を早急に検討、実施していく。提言いただいた内容については、今後の事業計画の策定において参考にしたい。

作元志津夫

市民フォーラム

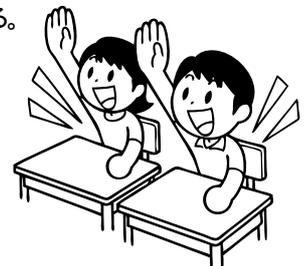
ユニバーサルデザインのまちづくり

質問 学校教育におけるユニバーサルデザイン

新設校の建設はユニバーサルデザインが好ましいのでは。また、分け隔てなく助け合う社会に向けて、心のユニバーサルデザインが求められている。現在の学校教育としての取組は、

答弁 教育委員会

新設校は、ユニバーサルデザインを意識し設計している。すべての子どもがへだてなく生活できる心を育てる教育は学校教育全般のねらいであり、すべての学校が取り組んでいる。その他、障がいのある子どもと、そうではない子どもが互いを理解し共に生きる心を育てるよう、行事や給食などで交流活動に努めている。また、国際理解活動に力を入れている学校もある。





質問順に掲載しています。

正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

岩月 幸雄

自民クラブ

環境施策

質問 鈴木市長の環境に対する思い

生物多様性基本法が成立し、2010年には名古屋市において生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催も決定したが、環境に対する鈴木市長の思いは。

答弁 市長

身近な生物の環境を取り戻すべく、皆で考えて行動することが最も大事だと思う。将来都市像「環境にやさしいまち」づくりは、交通計画や森づくり計画など各分野で取り組んでいかななくてはいけない。自然観察の森は人と自然の関わり方を学ぶ場所となることを究極の目標に、更なる整備を行いたい。当面は環境モデル都市に認定されるよう努めつつ、環境政策に取り組む。



梅村 憲夫

自民クラブ

地球温暖化抑止
ごみ減量

質問 住宅の省エネ化に向けた誘導支援

住宅用太陽光発電システム設置や住宅用高効率給湯器設置に対し補助制度があるが、普及率を上げるための啓発をさらに行うべき。工務店などにPRさせ誘導しては、また、省エネ住宅の誘導支援について、市の考えは。

答弁 環境部

家庭における省エネ化の取組である太陽光発電システムや高効率給湯器の普及拡大は急務だ。補助制度のPRについては、市民向けからハウスメーカーや工務店など業界への拡大シフトも早急

に検討し、家庭における省エネ設備の普及に努めたい。省エネ型住宅への誘導支援に関しては、技術の進歩、市場の動向などを見極めながら研究対象としていく。

清水 郁夫

自民クラブ

災害に備えてのまちづくり
豊田市の交通事情
榊原四市サミット

質問 高嶺地区における公共交通の整備

地域住民386人によるアンケートの回答をみると、「最寄り駅・バス停まで遠い」という意見が多く、どこへ行くにも自家用車が主流。高齢化が進む中、公共交通機関の整備は必須。市の考えは。

答弁 都市整備部

アンケート対象の高嶺地区には福祉バスが運行しているが、障がい者と高齢者に利用が限定されており、地域バスへの移行を今年度から地元と協議している。本市は地域の実情に応じた公共交通を地域主体で企画、運営する取組を支援しており、昨年度は4地域、今年度は藤岡地域バスが運行を始めた。高嶺地区においても地域と共働り、利便性の高い公共交通手段を確保したい。

桜井 秀樹

市民フォーラム

豊田市の食の安全に対する取組

質問 残留農薬の検査に関する現状と今後の課題

平成18年度の残留農薬の検査数は24品、延べ807項目だが、少なすぎるように感じる。検査数を増やすことはできないか。また、現時点でできない場合、解決すべき課題は何か。

答弁 福祉保健部

検査数は食品の安全・安心を語る懇談会での意見、検査機器の能力などを考慮し決めているが、近隣の中核市に比べて少ない。残留農薬の検査は、食品検査全体の中で考えていくものであり、懇談会での意見を聞いた上で、増やしていきたい。課題として、食品における農薬などの残留検査は非常に

わずかな量を検査するため高度な専門性を要するので、検査員の技術的習熟が必要だ。

太田 博康

自民クラブ

豊田市らしい食育の取組

質問 豊田市らしい食育普及啓発への取組

豊田市食育推進計画の重点事業であるモデル地区における食育事業の進捗状況はどうか。教育や保育の現場で、本市流にアレンジした食育に関する教材を使っては。

答弁 福祉保健部

食育のモデル地区として、今年度から3年間の計画で梅坪台地区と下山地区で取り組んでいるが、すでに梅坪台交流館と下山支所には食育の横断幕や食育コーナーを設け、地区市民への普及啓発に努めている。食育の教材については、今年度作成する食育カリキュラムに、市民から募集した市独自の食育カルタや食育絵本などを作り、教材として取り入れることを検討する。



湯本 芳平

市民フォーラム

わくわく事業の今後の展開

質問 市民活動への支援と市民参加型支援制度

今後の市民活動に対する援助について市の考えは。千葉県市川市などでは、市民税の一部を納税者が望む市民活動団体に割り振る制度があるが、本市も市民参加型支援制度を導入しては。

答弁 社会部

市民活動への支援について今年度中に計画をまとめる。多様な分野における市民活動団体の取組に対し、市民の関心をいかに引き、活動の輪を広げるかという点に重きを置いて検討したい。市



一般質問

諸派：会派所属無

川市などの制度は納税者意識の向上と市民活動促進という点でインパクトがある。市民参加型支援制度の導入は、地域自治システム全体をまとめる中で検討したい。

鈴木 章 自民クラブ

都市計画区域外の定住政策

質問 地域の個性を生かした定住政策

定住政策の推進にあたり、地域の特性を踏まえた個性的な政策を立案する必要があるのでは。都市計画区域外と、そこを含む過疎地域での定住政策をどのように展開していくのか。

答弁 社会部

今年度は「本市における過疎」の実態を把握し、過疎対策の方向性を明確にしていきたい。そのため専門コンサルタントを使い、様々な角度からの調査を行う。過疎対策は、新市の一体化を進める上で最も重要な課題であり、全市的な理解のもとで総合的に取り組んでいけるようにすることが大切。庁内各部署との連携により、定住政策を含めた過疎対策を進めていく。

近藤 光良 自民クラブ

防犯体制 ぬくもりを感じる高齢者支援策

質問 赤色回転灯の活用策

市の今年度予算で、交通事故撲滅対策として自治区に赤色回転灯を配布すると聞いている。この赤色回転灯を防犯活動にも応用できないか。活用策と自治区への配布予定は、

答弁 社会部

「夏の交通安全市民運動」のため、6月末までに移動式の赤色回転灯を各自治区に1基配布する。また、11月中旬をめどに自治区の世帯数に応じて2～10基を追加配布する予定だ。そのうち1基は車両のシガーライターから電源を取れるようにするので、停車の上、車外で赤色回転灯を見せることができる。街頭啓発など、防犯への活用も各自治区に依頼したい。

稲垣 幸保 自民クラブ

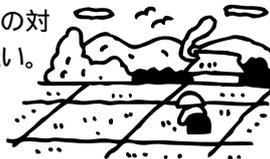
中山間地域の振興策

質問 今後の中山間地域の振興策

存続が危機的状況にある集落の再生や維持のために、中山間地域の対策となるような条例制定など、抜本的な振興策が必要ではないか。また「全国水源の里連絡協議会」に加入した意義は、

答弁 社会部

中山間地域の対策は、「本市における過疎」について十分に調査分析した上で検討すべき。その中で、条例化の必要性も考えたい。本市は合併後に初めて「自ら水源地域を保全していく」課題に直面したが、協議会の加入自治体の多くは、高度成長期から過疎問題に取り組んでいる。情報交換の機会を得たことは意義があり、「本市における過疎」への対策に生かしたい。



外山 雅崇 諸派

豊田スタジアムの安全性と補償問題

質問 建設時の大幅経費縮減ゆえに全体的な調査を

豊田スタジアムは柱の亀裂や地盤沈下などが多数見られる。建設時の大変な経費縮減が、下請け企業などへのしわ寄せになったからではと心配だ。全体的に安全性の調査をすべきでは、

答弁 都市整備部
教育委員会

豊田スタジアム本体の表面上の亀裂や周辺広場の地盤沈下については、認識している。法定点検の実施期間を短縮する検討や、日常点検の問題点を整理し、今後も安全な施設管理に努めていく。外周の沈下については、今年度予算で対応する。仕様書どおりに施工されていると認識

しているが、必要に応じて専門家を交えながら、安全性について確認していきたい。

鈴木 規安 自民クラブ

安全・安心のまちづくり

質問 通学路の安全性と把握状況

5月に尊い命を落とされた女子高校生は自転車通学をしており、帰路に事件にあった。高校も含めた通学路の危険箇所の把握はどのようか。安全な通学路の確保・整備について今後の取組は、

答弁 教育委員会

周辺の高校によると、高校の通学路は特に定められていない。小中学校では地域と協力して通学路点検を行い、危険箇所について通学路整備要望書を教育委員会に提出している。要望には可能な限り対応しているが、信号機や横断歩道の設置、用地問題など難しいケースもある。今後も子ども・保護者・地域が危険箇所の状況をつかむよう学校に働きかけ、安全な通学路整備に努める。

岡田 耕一 諸派

補助金等の見直し 広報とよたの発行

質問 広報誌の契約方法を見直す考えはないか

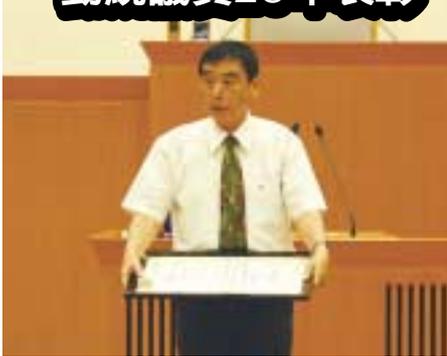
広報とよたは創刊以来、一貫して随意契約にしてきたが契約方法を見直す考えはないか。急激な変化を望まないならば、1日号と15日号を別契約にし、一方だけでも競争入札にしては、

答弁 総合企画部

広報とよたの印刷は、習熟した編集・印刷・折込製本技術を有した業者との随意契約である。現在の契約業者は50年以上受注し、ノウハウは卓越している。こうした施工能力は他に替えがたく、現在のところ契約方法を見直す考えはない。契約金額が他の自治体より多少高いことは認識しているので、今後、単価の精査や市内業者の施工能力などを調査したい。



勤続議員25年表彰



あいさつをする外山議員

第84回全国市議会議長会定期総会が5月28日に日比谷公会堂で開催され、本市議会では外山雅崇議員が勤続25年の表彰を受賞しました。6月6日、6月定例会の開会に先立ち、中根議長から表彰状が手渡されました。今後ますますの活躍が期待されます。

議員有志による花飾り活動



花飾り活動の様子

花のあるまちづくりの一環として、6月6日に市役所の庁舎連絡橋で議員有志が花飾り活動を行いました。昨年に引き続き、ヘデラやペゴニアなどを使った爽やかな寄せ植えを作成。「ハンギングバスケットマスター」の資格を持つ方々を講師に招き、初夏から秋まで楽しめる花飾りを連絡橋に飾りました。

議会報 コンクールで 優秀賞を受賞

4月17日に全国39市が加盟する中核市議会議長会の総会が開催され、その中で「第3回議会報コンクール」が実施されました。36市の応募があった中で、「とよた市議会だより」は昨年の審査員特別賞に引き続き、優秀賞を受賞しました。今後も読みやすい紙面づくりを目指してまいります。

議会の委員会視察

市政の課題や現状の調査を行うため、5つの常任委員会では以下の市内視察を予定しています。

他都市への行政視察は、次号「9月定例会秋号 No.90」で紹介する予定です

市内視察

- 企画総務委員会 7/15(火) 駅西口サービスセンター、ひまわりネットワーク
- 生活社会委員会 7/22(火) 足助消防署ヘリポート、大井平公園 他
- 教育次世代委員会 7/4(金) 志賀子どもつどいの広場、中部給食センター 他
- 環境福祉委員会 7/24(木) 渡刈クリーンセンター、こども発達センター 他
- 産業建設委員会 7/15(火) 鞍ヶ池公園(スマートインターチェンジ) 他

FMラジオ番組「市議会の扉」で 議会活動をもっと身近に

本年5月から、毎月第4木曜日にエフエムとよた(ラジオ・ラビート)で議会情報番組がスタートしました。第3回目となる7月の放送内容は以下のとおりです。

[放送チャンネル] ラジオ・ラビート 78.6MHz
 [放送枠] 7月24日(木) / 13:00 ~ 13:10
 再放送は7月27日(日) / 9:50 ~ 10:00

梅村副議長が出演して「議会閉会中の活動」を紹介する予定です。どうぞお楽しみに。

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想をお寄せください。また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・問合せ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

代表・一般質問の様子は、インターネット録画放映でも閲覧できます。

アクセスは検索サイトから

または <http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.htm>

< > の「議会中継 録画映像」をクリック!

議会中継は、ケーブルテレビとFMラジオで視聴できます。

	生中継・録画放送	生放送
放送チャンネル	ひまわりネットワーク 21ch(アナログ) 121ch(デジタル)	ラジオ・ラビート 78.6MHz

9月市議会定例会の予定

9月市議会定例会は
9月5日(金)開会予定です

この冊子は、折込み「6月市議会定例会 夏号」です。
このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。